




館名	尾道市重井公民館		
事業名	オール重井で協働のまちをつくり隊		
趣旨	<p>○中学生の地域並びに公民館との親近感の醸成</p> <p>○中学生のコミュニケーション能力・問題解決能力の育成</p> <p>○中学生の自主性・協調性の育成</p> <p>○地域住民の力を活かした人づくり・まちづくり</p>		
特徴	<p>○年間を通して重井中学校と連携し中学生を主体とした事業の展開。</p> <p>○「学校教育は学校だけで達成できるものではない」という地域と学校の共通認識のもと、中学校の教育研究会を公民館で開催。</p> <p>○市役所や大学、地域の企業・団体等と連携して事業を展開。</p>		
事業の様子	 <p>中学生が地元である重井地区で造船や郷土研究、農業などに携わる住民を講師としてふるさとについて学びました。</p>	 <p>地域の防災マップ等を用いて、生徒が災害時に身の回りに起こることをイメージし、避難経路や地域の強みや弱みについて話し合いました。</p>	 <p>災害への備えと地域の一員として働く意識を高める目的で、「炊き出し訓練」を行いました。公民館でカレーを調理し、地域の人たちと一緒に味わいました。</p>
	<p>【実施期日】</p> <p>①夏季特別講座 令和2年7月29日(水) 30日(木)</p> <p>②生き方講座 令和2年8月25日(火)</p> <p>③炊き出し体験学習 令和2年11月5日(木)</p> <p>④重井町民文化祭・重井中学校文化祭 令和2年11月8日(日)</p> <p>⑤持続可能な重井をつくる講座 令和3年2月22日(月)</p> <p>【実施場所】 重井公民館</p> <p>【実施機関・団体】 尾道市立重井中学校、尾道市総務課、白滝公園保勝会、重井町区長会、社会福祉協議会、愛育会、康和会、文化財協会、因島商工会議所、福山市立大学</p>		

活動実績	<p>【対象者及び参加者数】</p> <p>①令和2年7月29日（水）中学生21名 講師11名（地域住民） 30日（木）中学生52名 教員4名 講師3名（市総務課）</p> <p>②令和2年8月25日（火）中学生15名</p> <p>③令和2年11月5日（木）中学生21名 講師15名（地域各種団体代表）</p> <p>④令和2年11月8日（日）中学生52名 保護者・地域住民580名</p> <p>⑤令和3年2月22日（月）中学生16名 講師4名（地域につながりのある方等）</p> <p>【事業費】</p> <p>50,000円 （内訳：報償費22,200円、需用費27,800円）</p>
成果と課題	<p>【成果】</p> <p>○公民館が地域の人材バンクとなり，中学校のふるさと学習・キャリア学習を充実・深化させることができた。</p> <p>○中学生にまちづくりや防災に主体的に関与しようとする意識の高まりを見ることができた。</p> <p>○地域住民の中学校教育への関心が高まり，事業を進める際，地域住民から協力を得ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>○新型コロナウイルスのため，地域の諸行事が中止となり，中学生が地域行事に参画する機会が減少した。</p> <p>【運営した感想】</p> <p>○生徒の感想文から生徒自身が故郷から得た学びから地域とのつながりを実感できたことが読み取れた。また，将来重井町に住みたいという生徒の思いも確認することができた。</p> <p>○公民館が地域活動の中心であることを理解し，親近感がより醸成された。</p> <p>【工夫したこと】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策を徹底し，公民館と中学校で実施した。</p> <p>○福山市立大学，大阪の2か所とオンラインでつなぎ，「町づくり講座」を実施した。</p> <p>【今後に向けて】</p> <p>○令和3年も継続して中学生と地域のつながりをより強いものにする。</p> <p>○課題発見解決策提案の講座を実施できるレベルを目指す。</p>
連絡先	<p>尾道市重井公民館 〒722-2102 尾道市因島重井町 2978 電話：0845-25-0016 ファクシミリ：0845-25-0835 E-mail：shigei0016@arrow.ocn.ne.jp</p>

